

第7回

台東区子供歴史・文化検定中学生問題

解答と解説

解説文の最後に、参考として『台東区子供歴史・文化テキスト（改訂版）』のページ数を掲載しています。

平成28年度 台東区教育委員会

問1

正解 エ

正岡子規まさおかし きは、明治時代の俳人・歌人はいじん かじんで、病弱な身ながらも多くの俳句はいくや短歌を残し、35歳で根岸の子規庵し きあんで亡くなりました。(P.166)

問2

正解 イ

落語は落し話ともいわれる日本で始まった伝統的な芸能げいのうの一つです。区内にある吾妻橋あづまばしや寛永寺、上野の花見なども落語の舞台になっています。(P.133)

問3

正解 ア

『東都歳時記』には、江戸えどやその近郊の年中行事などが書かれています。その中に浅草田圃たんぼの様子も描かれています。(P.79)

問4

正解 イ

上野に清水観音堂きよみずかんのんどうと五重塔ごじゅうのとうがつくられたのは、1631(寛永8)年のことです。(第1章より)

問5

正解 イ

3代将軍家光は日光にある輪王寺りんのおうじに埋葬まいそうされました。(P.19)

問6

正解 ウ

玉川しょうえもん庄右衛門と清せいえもん右衛門の兄弟は、1653（承しょうおう応2）年に玉川上水を築きました。（P.39）

問7

正解 ウ

縄じょうもん文時代は、今から約1万5千年前から始まったと考えられています。古墳こふん時代は、3世紀の中ごろから始まりました。（P.9）

問8

正解 ウ

紙屑かみくずひろいは、道端みちばたに落ちている紙屑を拾って、問屋に売っていました。それほど紙は貴重だったのです。（P.47）

問9

正解 イ

安政の大地震では、多いものでは10万人の死者が出たという記録もあります。関東大震災は大正時代に起こった地震です。（P.52）

問10

正解 エ

乗合馬車のりあいばしゃ、鉄道馬車、路面電車が走り始めたのは明治時代で、自動車が日本で普及し始めたのは昭和時代になってからです。（P.64～P.65）

問11

正解 イ

駿馬塚しゅんめづかには、源義家みなもとのよしいえの愛馬「青海原あおうなばら」が埋葬まいそうされているとされています。

(P.78)

問12

正解 エ

付録の地図では、赤い部分は寺社を、灰色の部分は大名屋敷を表しています。

(付録地図より)

問13

正解 エ

問屋おろししょう(卸商)は、商品を集めて仲買なかがいに売りさばく役目になを担っています。

(P.86)

問14

正解 ア

お化け地蔵と呼ばれるようになったのは、笠かさをかぶっていた時、その笠が向きを変えたからとか、高さが3mを超えるほど大きいからとか、いくつか言い伝えがあるためです。(P.109)

問15

正解 イ

下谷神社の赤い鳥居は、浅草通りに面していて町のシンボルになっています。

(P.110)

問16

正解 ウ

しょうが生姜は、かつて谷中かいわい界隈の特産品でした。(P.121)

問17

正解 ウ

かつかわしゅんしょう勝川春章のお墓は西福寺さいふくじ(蔵前4-16-16)にあります。(P.123)

問18

正解 イ

たかむらこううん高村光雲は、下谷区生まれの彫刻家ちょうこくかです。伝統的な木彫もくちょう技術と西洋彫刻をあわせて、近代彫刻発展の基礎をつくりました。(P.130)

問19

正解 ウ

と き ぜんまる土岐善麿は、読売新聞社つとに勤めていた時に、東京遷都50年の記念博覧会協賛事業として、初の駅伝かいざいの開催じんりょくに尽力しました。(P.136)

問20

正解 エ

お お く ぼ と し み ち大久保利通は、岩倉具視いわくらともみの知り合いであった精養軒せいようけんに上野への出店を依頼いらいしました。(P.140)

問21

正解 エ

縄文時代じょうもんや弥生時代やよいの人々は、地面に穴を掘って柱を立てるたてあなしきじゅうきょ竪穴式住居に住んでいました。(P.9~P.10)

問22

正解 ア

今戸は今戸神社さんやほりや山谷堀にかかっていた今戸橋、今戸という町名に名前が使われています。江戸時代には今戸焼は人気があり、おきもの置物やがんく玩具などが焼かれました。(P.60)

問23

正解 ア

浅草寺の本尊ほんぞんは観音像であることから、「浅草の観音さま」として多くの人々に親しまれています。(P.12~P.13)

問24

正解 イ

都市部では空襲くうしゅうを避けるために小学生が学校ごとに地方へ疎開する「学童集団疎開」がおこなわれました。(P.32~P.33)

問25

正解 ウ

ざんぎり頭は、たば束ねた髪を切り落としてそのままにしておくのが特徴で、文明開化の象徴しやうちようとされました。(P.41)

問26

正解 ウ

東京藝術大学は、昭和24年に東京美術学校と東京音楽学校が統合とうごうされ設立されました。(P.145)

問27

正解 ア

縄文じょうもん時代とは、土器の表面に縄目なわめの文様もんようがついていた縄文土器を使用していたことから名づけられました。(P.9)

問28

正解 エ

台東区は下谷区と浅草区が合併がっぺいしてできました。(P.34)

問29

正解 エ

徳川幕府最後の将軍は15代慶喜よしのぶです。家康は初代、家宣いえやすは6代、家斉いえのぶは11代将軍です。家斉いえなりは11代将軍です。(P.24)

問30

正解 イ

東京メトロ銀座線は当初は「地下鉄」と呼ばれていました。銀座線という名前は昭和28年に付けられました。(P.151)

問31

正解 ウ

江戸時代、川は人や物を運ぶのに非常に重要でした。隅田川も多くの船が行き来したため、川からお堂をおがめるようにしていたのです。(P.103)

問32

正解 ア

狩野芳崖は、フェノロサに見いだされ、東京美術学校の設立に尽力しました。代表作に重要文化財「悲母観音像」があります。(P.127~P.128)

問33

正解 ア

嘉納治五郎は自分の開いた柔道場に「柔道は術のみを追求するものではなく、道を講ずること」という意味を込めて「講道館」と名付けました。(P.154)

問34

正解 ウ

関東大震災では、下町の住宅密集地を中心に火事で多くの住宅が焼けてしまいました。その後学校をつくる時に、学校の隣や近くに公園を設けることによって、避難場所としました。(P.30)

問35

正解 ウ

時の鐘は区内では寛永寺境内と浅草寺境内に設置されました。(P.54)

問36

正解 ア

区内には浅草広小路や下谷（上野）広小路などの火除地ひよけちがありました。

(P.80)

問37

正解 イ

江戸時代には主に荷物を運ぶのに水運が用いられていました。(P.69)

問38

正解 ア

江戸の都市が拡大すると、谷中や浅草に寺院が移転し、寺町を形成しました。

(P.83)

問39

正解 ウ

門前町は、寺院に参詣さんけいする人々に宿や休憩きゅうけいの場、飲食などを提供していたため、門前町が成立することによってその周辺も発展し、市街地化がいっそう進むという効果もありました。(P.83)

問40

正解 エ

浅草神社は、檜前ひのくまのはまなり浜成、竹成たけなり兄弟と、土師はじのなかとも中知をまつた神社です。このことから三社様として親しまれています。(P.92)

問4 1

正解 ウ

年末の酉とりの市では「福かを搔かきこむ熊出」として、お多福たふくや千両箱、稲穂などをつけた熊手が縁起物えんぎものとして境内で売られています。(P.96)

問4 2

正解 ア

奏楽堂そうがくどうは、東京音楽学校の本館として建てられた、日本で最も古い木造洋式もくぞう音楽ホールです。(P.164)

問4 3

正解 イ

書道博物館は、画家で書道家でもあった中村不折なかむらふせつにより 1936 (昭和 11) 年に開館されました。不折が書道研究のために集めた資料約 1 万 6 千点 (重要文化財を含む) が収蔵されています。(P.162)

問4 4

正解 ア

長屋は、隣となりの家とは壁と壁でつながって横に長くつくられており、井戸やトイレを共同で使用していました。(P.43)

問4 5

正解 ウ

瓦版は、江戸時代から明治時代にかけて数多く摺すられた、現在の新聞や雑誌などにあたる大衆向けの印刷物でした。(P.55)

問46

正解 エ

暦は1年間の月日や大安、仏滅などの吉兆・凶兆などが書かれていて、生活に欠かせないものでした。(P.116)

問47

正解 ア・イ

台東区では伝統的な技能を無形文化財・生活文化財(台東区だけにある制度)に指定しています。(P.60)

※テキストの表現があいまいだったため、ア・イともに正解とします。次回のテキストの改定時に訂正します。平成30(2018)年に改訂予定です。

問48

正解 イ

浄名院にまつられるへちま地蔵の祈禱を受けると、咳や喘息によく効くといわれています。(P.95)

問49

正解 ア

上野東照宮では、冬ぼたん・春ぼたんが一般公開されます。(P.89、P.93)

問50

正解 イ

彰義隊と官軍が戦ったときに官軍の大砲が大仏の胴体を破壊した記録は残っていません。(P.141)